

しおさい通信

No. 8

平成24年12月号

指定就労継続支援B型事業所 しおさい

三崎：銚子市三崎町 3-82

TEL 23-9012

春日：銚子市春日町 2058-1

TEL 25-3475



健康まつり参加



11月11日（日）、銚子市保健福祉センターすこやかなまなびの城で、第6回健康まつりが開催され、しおさいも参加しました。

健康まつりでは、血管年齢測定や骨密度測定、体脂肪測定、唾液によるストレス測定などが行われた他、医師による健康診断を無料で受けることが出来るとあって、午前9時30分の開会と同時に大勢の市民が来場しました。一部の測定コーナーでは整理券を出すほどの人出となり、健康に関心がある市民の多さを実感しました。

このまつりでは食べ物の販売が出来ない為、この日はしおさい春日で製作した手さげバッグやエプロンなど色とりどりの布製品を販売しました。

販売は主に職員が行い、参加した三崎、春日のメンバーさんたちは、館内で行われていた各種コーナーへ行って測定や体験をし、普段あまり意識することなく過ごしている「健康」について考える一日となったようです。



布製品を販売中の職員



エプロンをお探し中のお客様



エプロンを試着してポーズ！



メンバーさんもお手伝い

銚子市地震津波避難訓練実施

11月4日（日）、銚子市地震津波避難訓練が全市民を対象にして行われ、しおさい春日も福祉避難所として開所しました。

午前9時30分に、防災行政無線や防災ラジオなどを通じて、「大津波警報が発令された」という放送が流れると、しおさいのメンバーさんたちも自宅から春日へ“避難”して来ました。最終的には、メンバーさん14名、職員4名が訓練に参加しました。

春日へ到着後、アンケートを記入し、アルファーマ（お湯か水を注いで食べる保存食）を1袋ずつ貰って帰宅となりました。

全市的な避難訓練は今回が初めてだったのですが、参加市民は約2800人とかなり少なかったようです。また、訓練の実施方法についても問題点が多くあったように感じましたが、これについては回数を重ねて解決して行くより方法はないのではと思います。

のらい・くらいさん来所



一粒舎の皆さん

11月14日（水）、木更津市でブルーベリー農園「のらい・くらい」^{ひとつぶしゃ}（野楽里・来楽里）を運営している特定非営利活動法人一粒舎の職員と利用者さん総勢22名が来所されました。これは、8月にしおさいの職員が研修目的で、ブルーベリー農園を見学しに行った際に、事業拡大の参考の為に、是非パンを製造している現場を見たいという一粒舎さん側からの要望によるものです。皆さんは、黒生海岸の一山いけすで新鮮な海の幸を堪能した後、しおさい三崎に来所されました。まず、配布したパンフレットを見ながら山本施設長がしおさいやかんらんなどの説明を行い、施設の概要を理解して頂きました。その後の質疑応答では、一粒舎代表の飯田喜代子さんからパン造りなどについての質問がありましたので、現在の状況などを話しました。帰り際、しおさいのパンを全員分購入して頂き、しおさい春日へ移動しました。春日では隣のぞみさんも含めた施設見学を行いました。



飯田代表



東総地区精神障害者交流会参加



11月19日（日）、佐倉市民体育館を会場にして、東総地区精神障害者交流会（第四ブロック交流会）が行われ、しおさいも参加しました。

交流会は、東総地区（印旛・香取・海匝・山武・長生）で生活する精神障害者の方々が互いに意見をを交わし、交流を深め、互いに支援するためのネットワークを作ることを目的として行われました。

午前の部は、地域内3事業所の活動報告が行われました。その中で、成田市にある多機能事業所ビーアンビシャスを運営する社会福祉は法人まごころの活動は、その規模や事業内容の多彩さにしおさい職員一同“驚嘆”しました。（福祉作業所からNPO法人を経て、社会福祉法人へ移行！）

午後の部は、ドッジビー（ウレタン製の円盤を投げるチーム対戦型スポーツ）の競技が行われ、しおさいのメンバーさんたちも参加しました。今年はちょっと残念な結果となってしまいましたので、来年こそ頑張らしましょう。



元気になって参加しました



しおさいの販売コーナー



ドッジビー競技中のメンバー

編集後記

グーグルアースの東日本沿岸部の衛星画像が震災直後の写真から今年3月29日付けの写真に更新されました。しおさいの部分を拡大した所、私の車が写っているのに気が付きました。木曜日で休日出勤した時に撮られたのでしょうか。自宅部分を見たら車がなかったのだとぶん間違いないと思います。不思議な感覚で、ちょっと感動。皆さんも検索して見てはいかがでしょうか？面白い発見があるかも。

